



2024年7月21日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

「体操をメジャー競技にしたい」女子体操・杉原愛子さん

21日(日)=1、3面

迫る



練習に励む杉原愛子選手

今週の「迫る」は女子体操の杉原愛子選手を取り上げます。女子体操選手の衣装といえば、ハイレグのレオタードが一般的。しかし昨今、盗撮被害などが相次ぎ、女性アスリートたちは頭を抱えています。そんな状況で杉原選手が発案して作成したのが「アイタード」。短パンのような感じで太ももが覆われているスタイルです。名称は自身の名前からとりました。まだ広く浸透はしていませんが、体操競技をしたいという女兒の母親などから「こ

れだと下着が見えないから安心」といった声が寄せられています。

また、競技面では東京五輪は団体5位、個人種目でも振るわず、「一区切りつける」と第一線を退いた杉原選手。その後大会のリポーターやイベント参加をこなし、パリ五輪に向けて競技に復帰しました。

アイタード、リポーター……共通しているのは「体操をもっとメジャーな競技にしたい」という思いです。杉原さんの挑戦を追いました。

そこが聞きたい

舞台裏のハラスメント 21日(日)=くらしナビ面



宝塚歌劇団の劇団員の女性死亡した問題や、旧ジャーニーズ事務所の性加害問題は、華やかなステージの裏に潜む構造的な「闇」を浮き彫りにしました。劇場や劇団などの芸術面における最高責任者で

ある芸術監督は、こうした現状をどう受け止めているのでしょうか。今年4月に愛知県芸術劇場(名古屋市)の芸術監督に抜てきされた唐津絵理さん=写真=にその背景や課題を聞きました。



パリ市庁舎に設置された五輪マーク=2023年9月19日撮影

特集ワイド

レシピ大人気 リュウジさん 22日(月)=夕刊2面

料理研究家のリュウジさんは、各方面で引っ張りだこになっています。動画投稿サイト「ユーチューブ」では500万人近い人たちがチャンネル登録し、出したレシピ本は30冊近くになります。

大勢の心と胃袋をつかんで離さないリュウジさんとは、いったいどんな人物なのでしょう。絶品レシピはどのようにして生まれるのでしょうか。心がけていることは？あれこれと尋ねました。



第95回都市対抗野球大会が開幕しました。出場32チームが30日までの12日間、優勝旗の黒獅子旗をかけて熱戦を繰り広げます。地域の代表として戦う、社会人野球最高峰の大会の魅力を、主催の毎日新聞社では紙面やニュースサイト、大会期間中の「都市対抗LIVE!」などで、存分にお伝えしていきます。(渡部竜之介)

竹橋の窓辺から
編集後記

論点 パリ五輪開幕

26日(金)

＝オピニオン面

パリ・オリンピックが7月26日に開幕します。3年前の東京五輪は新型コロナウイルスの影響で開催の是非が問われ、大会後には汚職と談

合事件の舞台と化しました。イメーが損なわれた五輪に対し、私たちはどう向き合うべきでしょうか。フランス在住の翻訳家で五輪反対運動

に取り組む佐々木夏子さん、フランス人ジャーナリストの西村カリンさん、元駐フランス大使の小倉和夫さんに聞きました。

毎日新聞

